

試合番号 : 106		試合会場 : エントリオ (豊田合成記念体育館)				観客数 : 2,603				
開始時間 : 13:05		終了時間 : 14:54		試合時間 : 01:49		主審 : 中山 健				
副審 : 村中 伸		ウルブドッグス名古屋		通算		1勝 1敗 ポイント : 3				
監督コメント	昨日の試合と同じようにとてもハイレベルなラリーボールでした。お互いに戦術面で変更した部分があり、選手はそれに対応してくれました。相手はとてつもないレベルが高く、素晴らしいチームだと思います。そのうちチームに立ち向かってくれたことを誇りに思います。世界中の我々ウルブドッグス名古屋のファンの皆さま、そしてここエントリオへ足を運んでくださったファンの皆さま、本当にありがとうございます。次の試合は新しく生まれ変わった東京グレートベアーズと東京体育館での試合になります。今シーズン初のアウェイの試合になりますが、これからしっかりと準備したいと思います。応援してくださる皆さまにお会いできることを楽しみにしています。Here and Now!	0	23	第1セット	25	3	監督コメント	ジェイテクトSTINGS	通算	1勝 1敗 ポイント : 3
			21	第2セット	25					
			22	第3セット	25					
				第4セット						
				第5セット						
要約レポート		ウルブドッグス名古屋がジェイテクトSTINGSをホームに迎える愛知ダービー2日目。第1セット、WD名古屋はクレク、山崎を中心に攻撃を組み立て、対するジェイテクトは西田、柳田を中心に得点を重ねていく。序盤から競った展開が続くが、ジェイテクトは終盤、柳田が2本連続でスパイクを決めるなど3連続得点でWD名古屋を突き放し、最後は西田のスパイクが決まりセットを先取した。第2セット、ジェイテクトが第1セットの勢いそのままにリードした展開で進んでいく。終盤にはウルナウトのサーブからサービスエース2本を含む5連続得点でリードをさらに広げ、セットを連取した。第3セットもジェイテクトは序盤から柳田、ウルナウトにサービスエースが飛び出すなど、得意のサーブで有利に展開を進めていく。WD名古屋は傳田のクイック、ブロックで点差を詰めるも、最後はジェイテクト村山がクイックを決め、ストレートで勝利した。								
試合番号 : 107		試合会場 : 日本製鉄堺体育館				観客数 : 399				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:20		試合時間 : 01:20		主審 : 正岡 卓				
副審 : 服部 篤史		堺ブレイザーズ		通算		2勝 0敗 ポイント : 6				
監督コメント	開幕で2連勝を飾ることができ、良いスタートを切ることができました。特に第3セットはピハインドの状況から連続ブレイクで逆転して取ることができ、チームとしても収穫の多い試合となりました。まだまだ修正点も多くあるので、チームとしてきちんと修正しながら、来週の試合に臨みたいと思います。ホームゲーム2戦、熱い応援ありがとうございました。来週も応援宜しくお願いします。	3	25	第1セット	16	0	監督コメント	大分三好ヴァイセアドラー	通算	0勝 2敗 ポイント : 0
			25	第2セット	19					
			25	第3セット	22					
				第4セット						
				第5セット						
要約レポート		2022-23 V. LEAGUE DIVISION1 MEN 開幕戦を勝利で飾り2連勝して勢いに乗りたい堺ブレイザーズと、初勝利を掴みたい大分三好ヴァイセアドラーの戦い。第1セット、堺はスタートから4連続得点をあげ、サーブで大分三好を崩し、終盤このままリードを続け、第1セットを先取した。第2セット、堺の勢いは止まらない。大分三好は川口のクイックとブロックで巻き返しをはかろうとしたが、堺の迫田の好レシーブや樋口のスパイクで連続得点を積み重ね、このセットも堺が奪った。第3セット、何としてもセットを奪いたい大分三好は、セッター伊藤に代わり井口をスタートから起用。多彩な攻撃で中盤までリードし流れを掴んだかにみえたが、堺は終盤、松本のブロックをきつかけに勢いにのり、パーノンの強烈なスパイクと迫田の巧みなジャンプサーブで逆転し、堺がホームで2連勝した。								
試合番号 : 108		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 2,101				
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:27		試合時間 : 01:27		主審 : 西中野 健				
副審 : 戸川 太輔		パナソニックパンサーズ		通算		2勝 0敗 ポイント : 6				
監督コメント	とても良い試合で、何があっても集中力を切らさずに選手がプレーしたことを誇りたいです。サーブとブロックでしっかりプレッシャーを与えました。1週目を勝利できたことは嬉しいです。来週の東レ戦に向けて準備します。本日も応援ありがとうございました。	3	25	第1セット	18	0	監督コメント	東京グレートベアーズ	通算	0勝 2敗 ポイント : 0
			25	第2セット	15					
			25	第3セット	20					
				第4セット						
				第5セット						
要約レポート		連勝をして勢いをつけたいパナソニックパンサーズと今シーズン初勝利をめざす東京グレートベアーズの一戦。第1セット、パナソニックは清水・仲本を中心とした攻撃を展開。東京GBは張や柳町の活躍で、セット終盤まで一進一退の攻防が展開されるが、最後はパナソニック・仲本のアタックが決まりセットを先取る。第2セット、勢いに乗るパナソニックは要所で小宮のブロックなどで得点を重ねるなどで中盤まで大きくリードし、粘る東京GBを引き離し、セットを連取する。第3セット、東京GBは柳町や途中から出場した笠利の攻撃を中心にゲームを展開し井口をスタートから起用。多彩な攻撃で中盤までリードし流れを掴んだかにみえたが、パナソニックは仲本が要所でアタックやブロックを決める活躍でセットを取り、開幕2連勝を成し遂げた。								
試合番号 : 109		試合会場 : スカイアリーナ (第一総合運動場)				観客数 : 908				
開始時間 : 15:05		終了時間 : 17:18		試合時間 : 02:13		主審 : 林 淳一				
副審 : 原 啓之		サントリーサンパーズ		通算		1勝 1敗 ポイント : 3				
監督コメント	本日もサンパーズへ多大なご声援有難うございました。残念ながら敗戦となってしまいましたが、東レの粘り強いディフェンスにリズムを崩されてしまったことが今日の敗因だと思います。改めて試合に勝つ難しさを、準備の重要性を感じました。東レは昨日の敗戦からの切り替えも早く、我々への対応も素晴らしいと感じています。この敗戦を糧とし、長いシーズンを勝利すべくさらに成長していきたいと思えます。選手たちは最後まで「PLAY HARD」を実践してくれました。長いシーズン様々なことが起こると思いますが、引き続きサンパーズへの熱いご声援をよろしくお願いいたします。	1	21	第1セット	25	3	監督コメント	東レアローズ	通算	1勝 1敗 ポイント : 3
			25	第2セット	22					
			23	第3セット	25					
			19	第4セット	25					
				第5セット						
要約レポート		開幕2連勝を誇るサントリーサンパーズが、東レアローズをホームの箕面市に迎える戦い。第1セットは、両チームともセンターからの攻撃を絡めた展開で一進一退の攻防が続く。終盤に差し掛かると、東レが高橋の連続ブロックなどで点差を広げ、対するサントリーはアラインのサービスエースで応戦するも一歩及ばず、東レが先取る。第2セットに入ると、サントリーはリベロ藤中(颯)を中心に粘りのレシーブで会場を沸かせる。このセットから先発起用された柏田も要所でスパイク、サーブ、ブロックと活躍を見せ、サントリーがセットを取り返す。終盤までつれた第3セットをものにした東レは、第4セットその勢いが止まらない。サントリー・ムセルスキーの強烈なスパイクをリベロ山口がレシーブでつなげ、パダル、富田がスパイクを決めれば、上條もブロックで何度も相手の攻撃を封じ込め、サントリーを寄せ付けなく東レは第4セットも取り、前日の雪辱を果たす見事な勝利をつかんだ。								

試合番号 : 110		試合会場 : 広島グリーンアリーナ (広島県立総合体育館)				観客数 : 2,000							
開始時間 : 13:05		終了時間 : 14:39		試合時間 : 01:34		主審 : 本間 明							
						副審 : 千代延 靖夫							
JTサンダース広島		通算	2勝 ポイント: 6	0敗	26	第1セット	24						
3 昨日よりも緊張がなくなり、落ち着いてプレーできていたと思う。サーブ、ブロックが非常に機能し勝利することができた。第1セットは、リードされている場面でも崩れる事なく逆転する事ができて、そのままストレートで勝ち切れた事は良かった。ファンの皆様、ご声援ありがとうございました。		0		0 第1セットは粘りから、逆転までもっていったが、JT広島の強いサーブやブロック、ディフェンスに苦しめられ、セットを取る事ができなかった。第2セットに関しても、同様に最後の決定までもっていく事ができなかった。2連敗となり、負けた原因を次週に向けてしっかりと調整していきたいと思う。2日間沢山のご声援、本当にありがとうございました。		VC長野トライデンツ							
						通算	0勝	2敗	25	第2セット	22		
						通算	0勝	2敗	25	第3セット	15	0	
要約レポート 開幕戦を勝利して連勝を狙うJTサンダース広島と初勝利を目指すVC長野トライデンツとの一戦。第1セット、序盤から中盤にかけてJT広島・安永、江、坂下が強烈なアタックを決めるのに対して、VC長野もセッター構がアラウジョ、ドニ、池田(幸)にボールを集めて応戦して互角の展開を繰り上げた。ここから、JT広島の江が強烈なアタックと高さを活かしたブロックを決めて抜け出したが、VC長野もアラウジョ、池田(幸)のアタックとドニがブロックを決めて逆転して先にセットポイントを獲得した。第2セット、JT広島はラッセルが決めてブレイクに成功。そこから安永のブロックと江が強烈なバックアタックを決めてセットを先取した。第3セット、JT広島はセッター阿部の丁寧なトスから江が強烈なアタックを決める。VC長野は、ドニ、アラウジョ、池田(幸)のアタックで応戦し、終盤まで両者譲らぬ展開となった。ここからJT広島の江がサーブミスとアタックを決めてセットを連取した。第3セット、勢いそのままにJT広島がラッセル、坂下のアタックや江、坂下のブロックなどで大きくリードを広げた。後がないVC長野は、ドニ、三輪のアタックで粘りをみせるが点差を詰める事ができず、最後はJT広島の安永が強烈なアタックを決めて、開幕戦からのホームゲームを2連勝で飾った。													

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
						副審 :		
		通算	-勝 ポイント: -	-敗	第1セット		通算	
監督コメント						監督コメント		-勝 ポイント: -
								-敗
								-勝
								-敗
								-勝
要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
						副審 :		
		通算	-勝 ポイント: -	-敗	第1セット		通算	
監督コメント						監督コメント		-勝 ポイント: -
								-敗
								-勝
								-敗
								-勝
要約レポート								

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :		
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :		
						副審 :		
		通算	-勝 ポイント: -	-敗	第1セット		通算	
監督コメント						監督コメント		-勝 ポイント: -
								-敗
								-勝
								-敗
								-勝
要約レポート								